

人生儀礼

昔から私たちの先祖は、人生の節目に子供の成長や家族が健康であることを祈願して、お祝いをしてきました。

初宮参り

氏神さまに「はじめまして」のご挨拶

赤ちゃんが初めて神社にお参りする初宮参りは、氏神さまに無事に誕生したことの奉告と御礼をし、氏子として健やかに成長することを祈るものです。一般に、男の子は生後三十一日目、女の子は三十三日目にお参りしますが、地域によつて異なることもあります。子供の体調や天候などにも気を使い、最良の日を選んでお参りをしましょう。



七五三

健やかに成長しますように…

三歳の男児、七歳の女児が晴れ着をきて、神社にお参りをします。子供の成長を神さまに感謝し、これからのさらなる健康を祈ります。七五三には欠かせない千歳飴は、子供の末永く健やかな成長を願つて細く長く、紅白の色で作られ、袋には鶴亀・松竹梅などの縁起物が描かれています。



平成24年 厄年表

男性			女性		
前厄	本厄	後厄	前厄	本厄	後厄
24歳 <small>(平成元年生 昭和64年生)</small>	25歳 <small>(昭和63年生)</small>	26歳 <small>(昭和62年生)</small>	18歳 <small>(平成7年生)</small>	19歳 <small>(平成6年生)</small>	20歳 <small>(平成5年生)</small>
41歳 <small>(昭和47年生)</small>	42歳 <small>(昭和46年生)</small>	43歳 <small>(昭和45年生)</small>	32歳 <small>(昭和56年生)</small>	33歳 <small>(昭和55年生)</small>	34歳 <small>(昭和54年生)</small>
60歳 <small>(昭和28年生)</small>	61歳 <small>(昭和27年生)</small>	62歳 <small>(昭和26年生)</small>	36歳 <small>(昭和52年生)</small>	37歳 <small>(昭和51年生)</small>	38歳 <small>(昭和50年生)</small>

※数え年は、誕生日前の場合は二歳、誕生日を迎えている場合は、一歳を足して計算します。

厄除

悪いことが身に振りかかりやすい年・人生の節目の年を厄年といえます。数え年で男性は二十五歳・四十二歳・六十一歳、女性は十九歳・三十三歳・三十七歳が本厄、その前後を前厄・後厄といい、神社にお参りをして、災厄を除けるために厄除(厄祓)をします。



神社へ行くまで祈願

地鎮祭

無事の完成をお見守り下さい

「ユ」しよめのまつりや「じまつり」ともいわれ、家を建てる工事を始める前に、その土地を祓い清め、神さまに工事の安全と守護を祈るための、重要な建築のお祭りです。土地の神さまを敬い、使用の許しを得て、工事の安全と生活の平安を祈るといってお参りは、まさに日本人の生活習慣における伝統や信仰に基づいたものといえるでしょう。

新宅祓

神さまへのご奉告

家が完成して入居する際に行うお祭りです。新築の家を祓い清め、神さまに無事完成したことを奉告し、建物が末永く丈夫であることと、そこに住む人々の繁栄を祈ります。最近では、地鎮祭のみ行うことが多くなってきたようですが、工事を見守っていただいた氏神さまに、無事の完成を奉告するのも大切なことです。



自動車清祓

運転は安全が第一

新しい自動車やバイクを乗り始めるときに、神社でお祓いを受け、安全運転を誓うとともに交通事故にあわないよう無事を祈ります。

ご連絡はこちらまでお願い致します。

横浜熊野神社